



「新しい生活様式」に対応したキャリア教育について

財光寺南小学校 校長 白地 浩



新型コロナウイルス感染拡大のために「新しい生活様式」「新しい日常」に移行した中で、安易に、これまでの授業の進め方に立ち戻ることは難しいのではないかと考えます。昨年度のキャリア教育通信にも書きましたが、よのなか先生を活用して、「様々な人生経験を聞くことは、とても有意義な経験だった。」「働くことの意義ややりがい、将来のために今、自分が何を頑張るべきか聞くことができてよかった。」「勤労の尊さや感謝の心、謙虚な心をはぐくませる一助となった。」等の多くの成果がでています。今後も、同じような成果をあげていくために、タブレット等のデジタル技術を効果的に活用したよのなか先生の授業の在り方について研修を深めていきたいと考えております。そして、日向市の地域の課題である地域の活動に若い人の参加が少ない、引き継いでくれる担い手がいてなくて困っている等の解決の一助にもなりたいと思っております。

「VUCA時代だからこそ大切なキャリア教育」

日向市立寺迫小学校 校長 河野 勉



最近「VUCA(ブーカ)時代になった」という言葉を目にしました。VUCA時代とは簡単に言うと「社会の変化のスピードが格段に上がり、先のことがよく分からなくなってきた時代」だそうです。このVUCA時代を乗り越えていくためには、刻々と変わる社会や環境へ柔軟に適応し、切り開いていく力が重要になると指摘されており、自ら目標を設定する力、失敗しても前向きに取り組む力、アイデア・発想力、意見の異なる人とも対話し多くの人が納得できる解を探っていく力等の育成が大事になると言われています。

そのために、学校教育では児童の発達段階に合わせて、祖父母・両親・子どもの「たての関係」から、近所の大人・地域の大人の「ななめの関係」へと広げ、より多くの大人と出会って豊かな経験をさせてあげることが大切になってきます。

本校でもキャリア教育支援センターの力をお借りしながら、豊かな経験の場が多く作れるよう取り組んでいきたいと考えています。

「若者に選ばれるまち日向をつくる「地域に根ざしたキャリア教育」」

日向市教育委員 是澤 利保



令和2年10月よりご縁があり日向市の教育委員となりました。教育の本質的な役割は、子どもたちに充実した人生を送れるよう基本的な学力や人間力を身に付け、自らの意思で希望ある人生選択をしていく機会を与えることだと考えます。その役割が充分機能できるよう、企業人としての知恵をもって尽力してまいります。

さて、昨今の地方経済の消費活動は少子化や人口流出等により年々減少しています。また、企業においては優秀な人材の確保が大きな課題でもあります。これら地域の諸問題を改善するためには、郷土愛とやる気を持った若者に、故郷で最終的に暮らしたいと選んでもらうことが重要であり、その為に我々大人が背中を見せ導きながら、日向が大好きな子どもたちを育てていくことが必要なのではないでしょうか。そのこともあり、5年前からよのなか先生としても活動させていただいております。

日向の未来を担う子どもたちに郷土の歴史・文化などその良さを認識させ、自信と誇りを持って地域で暮らしてもらい、最終的に地元を支える有為な人材を育成することが、「地域に根ざしたキャリア教育」の役割の一つであると考えます。この大切な授業を伝える「よのなか先生」の仲間を増やすこと、そして「日向の大人がみな子どもたちの先生」になることが、この地域を繁栄させるための最善の手段かもしれません。

「ウィズコロナ時代のキャリア教育」

日向市立美々津小学校 校長 春木 近志



新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や医療、その他に深刻な打撃を与え、テレワークやリモートワークなど、これまでの働き方を考え直す転機ともなっている。

本市では、「日向の大人はみな子供たちの先生」を合い言葉に、キャリア教育支援センターのサポートを受けながら、「よのなか教室」を開催してきた。子供たちは、いろいろな講師の方に、働く大人の情熱あふれる話を直接聞くことができた。しかし、コロナ禍の現在では、一部を除き思うように進めることができていない。

本通信35号に、「おしえてよのなか先生」と題したビデオ教材作成中との記事が掲載されていた。今後ビデオ教材の活用も選択肢の1つになると思われる。また、1人1人タブレットという環境が整えば、オンラインを活用した新たな取組も考えられる。

しかしながら、やはり働く大人から直接話を聞き、さらに知りたいことや疑問点を直に質問するという機会は大事である。ウィズコロナ時代のキャリア教育の在り方について、みんなで知恵を出し合いながら検討を重ねていきたい。1日も早いコロナの収束を祈るのみである。

「よのなか教室」
実施結果レポート入力をお願い!

各学校で実施された「よのなか教室」結果のデータベースへの入力をお願いします。詳しくについては、令和3年1月25日付け各学校あてのお願い文書をご確認いただき【実施レポートの登録】からお入りください。



日知屋小学校の4年生「職業講話」受講

日知屋小学校4年生は11月2日、11月9日、11月10日、11月30日の4日間にわたり「よのなか先生」の職業講話を受講しました。今回、それぞれの分野の4人の先生方から「仕事の内容、働く意義と喜び、小学生のうちに頑張っておくと良いこと」などをお話いただき、目を輝かせて聞き入っていました。



日向市消防本部
夏井 隆光さん



サンシャインアカデミー
藤江 顕さん



(有)ヤツシユ
河野 巨さん



長江保育園
後藤 真子さん

管内の各小・中・高校にキャリア教育支援用DVDの配布を行いました。ご活用いただき、今後の参考に致したく、お送りしておりますアンケートにもご協力ください。



日向中学校2年生「職業講話」と「立志のつどい」

日向中学校では2年生を対象に、「職業講話」と「立志の集い」が開催されました。「職業講話」は、去る10月6日に5名のよのなか先生にお願いし、サービス業、医療系、建設業、地方公共団体の4業種にて、「働くこと」・「大人になること」について職業観、生きがい・やりがい、中学生の時に身に付けておいた方が良いことなどの講話をして頂きました。2年生全員が5クラスに分かれ2コマの「よのなか教室」を行い、よのなか先生は同じクラスで2コマの「職業講話」を行い、生徒は前半、後半でローテーションを行って学習しました。



鯨島病院
長曾我部せんせい



旭建設
木下せんせい



マルイチ
高木せんせい



日向市役所
長友せんせい



天領うどん
河野せんせい

「立志の集い」は、「一人一人が自分の将来を見つめ、個性を発揮できる未来のために！」と去る12月18日に開催され、2年生全員の「決意の一字発表」と立志の誓いが宣誓されました。

校長先生から頂いた「立志の集い」のしおりには、2年生全員の「職業講話のまとめ」と「将来の決意の一字」がまとめられており、生徒全員が真剣に将来を見つめている姿が伺えました。

先生方にはどうもありがとうございました。



『日向高校フロンティア科2年生課題型学習校内発表会開催』

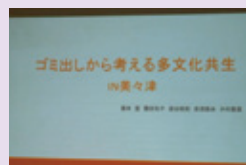
令和2年度日向高校フロンティア科課題型学習校内発表会が去る12月25日に同校体育館にて開催されました。日向高校は日向市と包括連携協定を結び、「日向市の魅力を向上させるためには」というテーマのもと、フロンティア科2年生が課題型学習に取り組んでいます。学習も最終段階を迎え、今回、校内発表会を行いました。

本発表会は、プロジェクトを通して得た「学び」を、参加者全員が共有するための場です。

発表したり、聴いたり、互いに振り返りを共有する中で、新たな気づきや観点を獲得の機会としてください。というメッセージが出されていました。

発表会にはフロンティア科全学年が参加し、日向市総合政策部と日向市キャリア教育支援センターの来賓、校長、同校評価員にて審査し、上位2チームが宮崎県課題型学習研究発表会に参加することになりました。

【審査結果：HHSプロジェクト～香りを使った日向の発信～
ごみ出しから考える多文化共生】



センター長 福島 重義